

様式1		令和4年度 清瀬市立清瀬第三中学校		学校評価計画	
学校の教育目標		人間尊重の精神を基盤とし、希望に満ちた社会をめざす健康で明るく、知性ある人間を育成する。1. 思いやりのある生徒・思考力 2. 自主性のある生徒・行動力 3. 協力する生徒・人間力		育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動	
目指す学校像(ビジョン)				1 教育活動全体で命の教育についての指導を実施するとともに、人権尊重を意識した教育活動を展開し、自尊感情や自己有用感を高めさせ、自他の命を大切に育てる。 2 生徒の主体性を意識した学校生活を向上させるための取組を充実し、これからの時代に必要な資質・能力を育成する。また、市民ボランティア等の協力を仰ぎ、生徒の学校生活の充実を図る。 3 体験活動への主体的な取組を推進するとともに、保護者や地域を巻き込んだ取組を取り入れ、より多くの考えや意見に触れることを通じて視野を広げさせ、他と共に学ぶことのよさを体感させる。	
【目指す学校像】		生徒、教職員共に互いを認め合い、安心・安全に生活できる学校			
【目指す児童・生徒像】		思いやりのある生徒、自主性のある生徒、協力する生徒			
【目指す教師像】		確かな学力を身に付けさせる教師、生徒から目標とされる教師、自己研鑽に励			
前年度までの学校経営上の成果と課題		昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一斉オンライン授業含め学校での教育活動が制限を受けた。保護者の参加する活動についてはほとんどが実施できず、外部人材を活用した活動も規模を抑え、感染対策を施したため保護者の参観は行えず、保護者の評価も低くなってしまった。しかし、生徒たちは限られた条件の中ではあるが、ほぼ例年通りの活動を実施し、真剣に取り組むことができた。全学年、授業規律を守り、静かな学習環境の中で、集中して授業に取り組んでいる。家庭での学習については家庭との連携が不十分であり、学校の取組みについての理解が進まず、学習の定着へと結びついていない現状がある。また、生徒一人一人のよさや能力を伸ばす教育に取り組んでいるが保護者への浸透には課題があ			
柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)	成果指標(評価基準)
確かな学力の向上	基礎学力の定着と学力向上に向けて授業改善を推進する。	・主体的な学習習慣と学ぶ意欲の向上。	・家庭学習定着のための取組実施。(各コンテスト・検定試験・ライフの活用)	4 教員の肯定的評価が90%以上	4 保護者の肯定的評価が80%以上
			・長期休業中、放課後、定期考査前の補習学習の実施。	3 // 80%以上	3 // 70%以上
		・教員の授業力向上。	・教科の特性に応じたICT機器の効果的な活用。	2 // 60%以上	2 // 60%以上
				1 // 60%未満	1 // 60%未満
豊かな心の育成	令和2・3年度東京都人権尊重教育推進校としての取組を活かし、道徳教育を充実させ、人権尊重、規範意識などの醸成とともに豊かな心を育成する。	・教育活動全般で道徳教育を実施する。特に「命」の教育の充実を図る。	・「考え、議論する道徳」の実施。 ・各教科の中で人権に関わる内容を意識的に取り上げ、自他を尊重する意識を向上させる。	4 教員の肯定的評価が90%以上	4 保護者の肯定的評価が80%以上
			3 // 80%以上	3 // 70%以上	
		・学級活動、生徒会活動、ボランティア活動等を通して、自己肯定感・自己有用感を向上させる。	・いじめ撲滅運動 ・地域清掃、落ち葉掃き、雪かき活動 ・職業調べ	2 // 60%以上	2 // 60%以上
				1 // 60%未満	1 // 60%未満
健やかな体の育成	・体力向上と生活習慣の確立を図る。	・体育的行事、部活動、保健体育の授業の充実による体力・技術の向上。	・保健体育の授業での30分間水泳、12分間持久走。 ・準備運動の工夫による体力向上。	4 教員の肯定的評価が90%以上	4 保護者の肯定的評価が80%以上
			3 // 80%以上	3 // 70%以上	
		・安全や健康、食についての意識を高め、自ら改善しようとする態度を育む。	・毎月、保健だよりを発行し、健康について啓発する。 ・委員会活動(昼の放送、食育講話)で食育教育の充実を図る。	2 // 60%以上	2 // 60%以上
				1 // 60%未満	1 // 60%未満
特別支援教育の充実	ユニバーサルデザインの考えに基づき教室環境の整備や授業改善を推進してすべての生徒に学ぶ楽しさを味わわせる。	・発達検査の結果を参考に計画的に課題の克服を行う。	・特別支援教室利用生徒への一貫した指導・支援を行う。	4 情報共有を年間6回実施	4 教職員の達成度の評価A
			3 情報共有を年間5回実施	3 教職員の達成度の評価B	
		・発達に起因した不登校生徒に登校を促す支援を行う。	・特別支援校内委員会、およびステップルームを活用し、教室復帰を目標とした個別支援を行う。	2 情報共有を年間4回実施	2 教職員の達成度の評価C
				1 情報共有を年間3回実施	1 教職員の達成度の評価D
本校の特色	教育活動活性化のために外部人材活用の充実を図る。	・キャリア教育、道徳教育の充実を図るために外部人材を講師として招聘し、教育的効果を高める。	・キャリア教育(高校、事業所) ・道徳(命の講話) ・携帯安全教室(企業)	4 教員の肯定的評価が90%以上	4 保護者の肯定的評価が80%以上
			3 // 80%以上	3 // 70%以上	
		・授業や部活動の充実のために、地域専門家による指導を取り入れる。	・専門家による剣道の指導(授業) ・外部指導員による技術向上(部活動)	2 // 60%以上	2 // 60%以上
				1 // 60%未満	1 // 60%未満
				4 教員の肯定的評価が90%以上	4 保護者の肯定的評価が80%以上
				3 // 80%以上	3 // 70%以上
				2 // 60%以上	2 // 60%以上
				1 // 60%未満	1 // 60%未満